



第 124 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和 4 年 7 月 10 日発行
発行責任者 高橋 哲男
編集責任者 片平 るみ
E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 Tel 042-475-8532

東久留米稲門会第 28 回定時総会報告（2022 年 5 月 21 日開催）

2022 年 5 月 21 日（土）午後 2 時より成美教育文化会館で文化講演会、定時総会及び懇親会が開催されました。文化講演会には一般参加者を含め約 70 名の参加があり、定時総会・懇親会には東久留米市富田市長をはじめ大学代表者と近隣稲門会からの来賓 11 名と会員 46 名が参加しました。

<第一部> 文化講演会

東久留米稲門会第 28 回定時総会に先立ち、文化講演会が開催され、成美教育文化会館 1 階ギャラリーにて会員、来賓、一般参加の方々約 70 名の方が参加されました。

講演のタイトルは「東久留米周辺の地形・地質と武蔵野の自然史」、講師は早大理工学部資源工学科を卒業後、同大学院理工学研究科修士課程を 1983 年に修了、埼玉県立高校に勤務し、理科（主に地学）を教えながら、1990 年以来、地学研究会に所属し関東平野の身近な郷土の地形・地質を調べる活動をしている正田浩司氏でした。

講演の内容は、武蔵野台の地形・地質と東久留米に豊かな湧き水がある理由、東久留米の北側を流れる野火止用水と平林寺の秘めた歴史、武蔵野台地の植生の変遷という 3 つの内容についてご講演いただきました。

東久留米市は黒目川の源流部に位置しておりますが、この武蔵野台地は青梅市を頂点として放射状に昔の多摩川が流れて広がった扇状地であり、さらに関東山地の隆起と関東平野側の二つの沈降域の間に形成されていることがわかりました。

武蔵野台地（扇状地）の中には 4 つの河岸段丘の平坦な地形が広がっており、関東ローム層の下には昔の多摩川が流れたときに関東山地から運んできた石ころの地層が堆積しており、この礫層は隙間が多く、地下水を流しやすいため、湧き水がたくさんある。黒目川は古多摩川が作った大きな名残川で、東久留米市はその源流部にあるので、豊富な湧き水に恵まれているそうです。



また、江戸時代前期の川越藩主 松平信綱の活躍を通し、玉川上水から分かれて開削した野火止用水と平林寺の話や縄文時代の武蔵野の植生等の話もいただき、最後に NHK で放映された「東京 武蔵野台地の湧水」の VTR を上映いたしました。改めて、この武蔵野の丘陵や台地の雑木林、畑など豊かな自然と人々の暮らしを次の世代にも伝えていかなければという思いが強く心に残りました。

大矢 真弘 記



講師の正田浩司先生



＜第二部＞定時総会

会長挨拶

コロナ禍の中で3年ぶりの定時総会開催となりますが、皆様は、ご健勝にお過ごしのことと存じます。また皆様にお会いできて大変うれしく思います。本日は、東久留米稲門会第28回定時総会にご出席いただきまして有難うございます。また、ご来賓の東久留米市長、早稲田大学及び東久留米三田会、近隣稲門会の皆様ご多忙の中、ご臨席を賜りましてお礼申し上げます。



コロナ禍の中、定時総会開催につきましては、非常に悩みましたが、稲門会活動を少しでも正常に戻したいことから開催を決定しました。諸先輩を含む会員の皆様及びご来賓の皆様のご協力に感謝いたします。

まず、会員数については、130名を切り危機感を感じましたので会員募集プロジェクトチームを設立し会員募集を強化しました。この5～6年は、毎年2～3名の入会者でしたが再入会を含めて13名の校友が入会し、昨年は、物故者や退会者が7名いましたが6名の増加となり会員減少に歯止めがかかりました。大半の入会者が昭和50年代卒でしたので定年制延長等の社会構造の変化に会員募集が追いついてきたことが考えられますので本年度も会員募集につきましては進めて参ります。

部会長の皆様には稲門会会員の懇親のためにご尽力を頂きありがとうございます。本年度入会者が多いので部会入会を勧めて稲門会との繋がりを深めて下さい。

本年度の行事は、コロナウィルスの感染状況にもよりますが、秋の懇親会、新年会は計画しておりますのでその時期にご案内します。また東久留米市民向けの映画鑑賞会については、本年度9月に開催することで準備しています。

また、再来年が東久留米稲門会30周年になりますので本年度は記念事業内容について検討して立案したいと思っていますので各部会も応援してください。

東久留米稲門会の基本方針のなかに「東久留米市の発展に寄与する」ことがあり、この基本方針の元、市民に対しての参加数約200名の映画鑑賞会原則年4回等を開催しています。当会の人材が東久留米市の発展に寄与できればと思っています。

「早稲田大学の発展に寄与する」も基本方針ですので稲門祭等早稲田大学に貢献しています。ここで早稲田大学にお願いしたいことがあります。

西武新宿線に対して西武池袋線は、大学施設・学生寮等が圧倒的に少ないと思います。西武池袋線は、秩父から横浜まで東京都を縦断していますし、戸山キャンパスまで東久留米駅から30分～40分です。今後学生寮等建設の予定がありましたら早稲田大学の西北である保谷駅から秋津駅まで特に東久留米市を候補地としてご検討をお願いします。

最後になりましたが、東久留米市、早稲田大学、三田会、各稲門会のご発展と皆様のご健勝を祈りまして挨拶とさせていただきます。



高橋 哲男 記

定時総会報告



富田竜馬 東久留米市長

2022 年 5 月 21 日(土)午後 2 時より成美教育文化会館で文化講演会、定時総会及び懇親会が開催された。定時総会は、小山田副会長の司会で開会、高橋会長より、来賓の紹介の後、開会の挨拶があった。

引き続き、来賓を代表して東久留米市富田市長から、常日頃からの市民への文化活動に対する感謝の挨拶があり、昨年暮れに市長に就任したばかりだが、稲門会の皆様のご協力をいただき、東久留米を元気にしていきたいとの挨拶があった。

早稲田大学三多摩地区コーディネーターの松田健一研究マネジメント課長からは、総会への祝辞と早稲田大学の近況報告があり、今年度の稲門祭への協力と校友会費や募

金活動への協力依頼があった。

続いて議事に入り、高橋会長を議長に選出し、以下の内容が可決承認された。

- ① 2021 年度事業報告
- ② 2021 年度収支決算報告
- ③ 2021 年度収支決算監査報告
- ④ 2022 年度事業計画
- ⑤ 2022 年度収支計画

大矢 真弘 記



松田健一 早稲田大学
三多摩地区コーディネーター

<第三部懇親会>

講演会・総会が無事に終わり、いよいよお楽しみの懇親会だ。会場に入って驚いた。何と沢山の方がご出席くださったことか。久々に見るこの光景、わくわくする心持になる。まずは高橋会長の挨拶。ご来賓の西東京稲門会会長や東久留米三田会幹事長からご祝辞をいただき、三代会長の帆角さんの乾杯の音頭で食事会が幕を開けた。大矢さんの軽妙な司会で、新入会員や各部会長もマイクを持たされていたが、皆さん流暢にお話になるのはさすがである。締めは五代会長の平山さんの挨拶、そして大矢さんの元気潑刺のエールのもと校歌斉唱を行い、名残惜しい中、会は終了した。

片平 るみ 記



緒方章 西東京稲門会会



島崎孝 東久留米三田会幹事長



大矢さんのエール姿

2021 年度決算/2022 年度計画（概要）

2021 年度収支決算、および 2022 年度収支計画が下記の通り総会において承認されました。

2021年度 東久留米稲門会 収支決算書				2022年度東久留米稲門会 収支計画書			
〔収入の部〕		2021年度		2022年度			
項 目	2021年度 計画	2021年度 決算	計画-実績 (+は余剰) (-は不足)	2022年度 計画③	2021年度 対計画 (増・減)	2021年度 対実績 (増・減)	摘 要
年 会 費	420,000	381,000	-39,000	420,000	0	39,000	会員 140名を目標
組織強化補助金	249,000	249,000	0	252,000	3,000	3,000	大学からの補助金
雑 収 入	10	10	0	20,010	20,000	20,000	近隣稲門会からの祝儀、預金利息
そ の 他 収 入	0	0	0	0	0	0	懇親会の余剰金
(収入計)	669,010	630,010	-39,000	692,010	23,000	62,000	
前年度繰越金	954,717	954,717	0	1,001,775	47,058	47,058	
(合 計)	1,623,727	1,584,727	-39,000	1,693,785	70,058	109,058	
〔支出の部〕							
		(単位 円)					(単位 円)
項 目	2021年度 計画①	2021年度 決算②	計画-実績 (+は超過) (-は余剰)	2022年度 計画③	2021年度 対計画 (増・減)	2021年度 対実績 (増・減)	摘 要
総 会 費	30,000	0	-30,000	60,000	30,000	60,000	講師謝礼、来賓手土産、会場費など
通 信 費	140,000	115,590	-24,410	80,000	-60,000	-35,590	20代～40代校友への別納送料など
ホームページ関連	150,000	108,162	-41,838	10,000	-140,000	-98,162	サーバー賃料運営費
印刷 費	20,000	21,690	1,690	20,000	0	-1,690	東稲ニュース発行年6回、会員名簿
消耗品 費	40,000	51,290	11,290	40,000	0	-11,290	事務局封筒、事務用品、印刷用紙など
近 隣 稲 門 会 校 友 会 交 流 費	65,000	15,000	-50,000	70,000	5,000	55,000	近隣稲門会祝儀、三多摩年会費など 三多摩支部大会費5名…¥25,000、いなほ
交 通 費	50,000	1,100	-48,900	50,000	0	48,900	前々年実績ベース、出張交通費
部 会 補 助 金	100,000	80,000	-20,000	110,000	10,000	30,000	11部会、ソフトボール部会新設
イベント・補助金	65,000	59,300	-5,700	100,000	35,000	40,700	総会、秋の懇親会、新年会、施設備品など
寄 付 金	80,000	74,300	-5,700	80,000	0	5,700	組織強化補助金確保要件
会 議 費	12,000	7,550	-4,450	12,000	0	4,450	定例会議費室料
雑 費	10,000	2,470	-7,530	10,000	0	7,530	送金・送料費
弔 慰 金	0	46,500	46,500	0	0	-46,500	
予 備 費	80,000	0	-80,000	100,000	20,000	100,000	マグカップ作製費等
(支出計)	842,000	582,952	-259,048	742,000	-100,000	159,048	
次年度繰越金	781,727	1,001,775	220,048	951,785	170,058	-49,990	
(合 計)	1,623,727	1,584,727	-39,000	1,693,785	70,058	109,058	
※ 次期繰越金の内、50万円を『30周年行事〔2024年開催〕積立金』とする。							
次年度繰越金と現預金残高、前受金等の関連説明				摘 要			
現 金	〔+〕	0		手持ち現金なし（年度末¥42,057を入金）			
預 金	〔+〕	1,211,775		3月31日現在東稲会郵貯口座 残高			
前受金(2022年度会費)	〔-〕	210,000	70名分	3月30日現在東稲口座振替済 70名分			
差引・次年度繰越金	=	1,001,775					
30周年行事積立金	〔-〕	500,000	繰越金の				
次年度繰越金	=	501,775	内 訳	未払い金は無し			
〔監査報告〕東久留米稲門会規約第7条の規定に基づき、2021年度の決算書類について監査の結果、 適正なることを認めます。							
2022年4月6日							
東久留米稲門会		会計監事	吉 川 明 美	㊟			
		会計監事	塚 越 崇	㊟			

定時総会・懇親会出席者（敬称略）

【来賓】

東久留米市：富田竜馬（市長）、早稲田大学：松田健一（東京三多摩地区コーディネーター）、
東久留米三田会：島崎孝（幹事長）、清瀬稲門会：内田貞司（会長）、神山和夫（副会長）、小平稲門会：
大島二典（会長）、二又祐一（幹事長）西東京稲門会：緒方章（会長）、原田一彦（副会長兼幹事長）、東
村山稲門会：山本岩男（会長）、町田光高（副会長兼事務局長）

【会員】

青木規宜、安次峰暁、有賀千歳、石田孝司、伊豆原純、伊東毅、大塚和恵、大矢真弘、小野泰右、
小山田朋樹、梶井琢太、金子孝司、片平るみ、河村洋子、菊山正明、吉川明美、後藤秀作、小牧完次、
酒井正敬、坂井淑晃、佐藤一郎、神宮邦政、清水正弘、高橋哲男、高柳康夫、橘優治、塚越崇、
東海俊孝、長束輝夫、長谷山勝美、比護喜一郎、菱山房子、平山努、平山正徑、福田稔、別处尚志、
帆角信美、前川初子、松崎勉、松崎博、武藤豊、山岡恭子、山口謙二、横田治彦、吉田清郎、渡辺真司

会の告知板



【部会予定】

7月	31日	(日)	令和4年度第2回役員会	16:00	生涯学習センター
9月	15日	(木)	グルメ部会「うまや」		赤坂見附
9月	29日	(木)	映画鑑賞会「鉄道員」	14:00	成美教育文化会館
11月	3日	(木)	秋の懇親会		
1月	14日	(土)	ニューイヤーコンサート		武蔵野音大ベートーベンホール
4月	16日	(日)	第29回定時総会	14:00	成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧>

※コロナ禍などで変更の出る可能性もありますので、ご注意ください。

部 会	7 月				8 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	7	木	10:00	中央町地区センター			休	会
書 道	10	日	12:30	スペース105	14	日	13:00	生涯学習センター
俳 句	17	木	10:00	生涯学習センター	21	日	10:00	生涯学習センター
囲 碁	24	日	13:00	成美教育文化会館	28	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	9	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	6	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	27	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター
ソフトボール	11	月	11:00~13:00	南町運動広場	8	月	11:00~13:00	南町運動広場
	25	月	11:00~13:00	南町運動広場	22	月	11:00~13:00	南町運動広場



【大学・校友会関係】

7月 24日	(日)	三多摩会長会	オンライン
9月 4日	(日)	三多摩支部大会	ホテル日航立川
9月 24日	(土)	秋季代議員会	早稲田大学
9月 30日	(金)	稲門祭実行委員会	早稲田大学
10月 23日	(日)	稲門祭	早稲田大学
11月 12日	(土)	小平稲門会	ルネ小平
11月 20日	(日)	東村山稲門会	
3月 4日	(土)	春季代議員会	早稲田大学

会の報告

◎第3回役員会報告

2022年度第1回役員会が6月5日(日)16:00～生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

高橋会長から開会の挨拶の後、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

2 第28回定時総会の件

(1) 反省等

- ・年会費並びにご祝儀の領収書準備
- ・当日、急な出席者もいるので、年会費納入状況一覧も必要。
- ・市民向けの講演会広報も継続

(2) 次年度総会

2023年4月16日(日) 成美教育文化会館 1階ギャラリー 3階大研修室

(3) 次年度文化講演会

未定だが、コンサート等も要検討

3 2022年度会員の状況

(1) 5月21日現在の会費納入、未納者状況

・納付者：115名 <予算の140名まで25名> *未納会員数 22名

(2) 未納会員への督促について

・7月の東稲ニュース配布時に督促状を出す。

4 本年度の行事予定、担当者

(1) 役員会

7/31(日)<8/7(日)を変更>・10/2(日)・12/4(日)

1/29(日)<2/5(日)を変更>・4/2(日)

(2) 秋の懇親会の日程検討

10/23(日)稲門祭・10/29(土)30(日)早慶戦・11/12(土)小平稲門会総会

11/20(日)東村山稲門会総会 が予定されている。

案内：9月10日発行の東稲ニュース 申込締切：9月30日(金)

実施予定日：10/16(日) or 11/3(木)とし、成美教育会館予約状況を確認

実行委員長：吉田副会長

招待者：20代～40代の校友

(3) 忘年会の日程 12/4(日)

(4) 新年会の日程 1/15(日) or 1/21(土)とする。



5 2022 年度会員名簿印刷等について

- (1) 会員氏名等の確認
- (2) 各部会の部会長の確認
- (3) 発行は総会が 1 か月遅かったことに伴い 9 月とする。

6 広報関係

- (1) 東稲ニュース
 - ・記事等の依頼
 - ・印刷日時等 7 月 10 日 (日) 15:50 生涯学習センター 学習室 5

7 稲門祭記念品の販売状況等

- ・目標金額 14 万円のところ、158,000 円の販売額達成 (6/5 現在)
 - ・景品の寄付・・・2 万円～3 万円 柳久保かりんとう (400 円) 50 袋
- ご参考：2021 年度柳久保ラーメン
2019 年度柳久保うどん 2018 年度焼酎

8 その他

- (1) ホームページ
- (2) 映画鑑賞会
 - ・9 月 29 日 (木) 14 時 「鉄道員」 成美教育文化会館
 - ・受付担当者・・・・・・ 山口
 - ・映画紹介等挨拶者・・・・ 清水
 - ・ハガキ、チラシ印刷等・・・・ 7 月 10 日 (日)

(3) マグカップ注文の件

50 個注文することとした。(税込 67,600 円)

9 サークル・部会関係

*次回役員会 7 月 31 日 (日) 16 時～ 生涯学習センター 学習室 2

大矢 真弘 記



部会だより 【活動報告】

<ソフトボール部会>

往年の野球小僧も今や齢 83 歳。部会長の渡辺さんから誘われ、おそろおそろ練習に参加してみて、運動機能の著しい低下に仰天しました。まず準備運動の段階で運動の基本ともいえる「走る」、「ジャンプする」、「スキップする」ことができないことに気付かされました。キャッチボールの段階ではわずか 10m 程の距離なのにボールが上下左右に大きく逸れ一定しない、守備練習ではわずか 50 センチ程脇に来るボールに追いつけない、バッティング練習では空振りが多くなかなかボールがバットに当たらないと困惑場面の連続で、こんな有様でついていけるか悩みましたが、それでも何回か重ねるにつれて、少しずつ適応力がついてきました。今では 2 チームに別れて、ゴム製の支柱に置いた軟らかいボールを軽く

て柔らかいバットで打って走って守って点数を

競う T ボールゲームにも加わって、皆さんと一緒にボール遊びを楽しんでいます。どこまで続くか分かりませんが、怪我をしないよう無理せずに、自分の体調に見合ったペースを守って、これからも参加していきたいと思っています。

帆角 信美 記



酒が飲める



昨年9月7日キャッチボールの会以来、今年5月30日のソフトボールの会まで9回参加している。初めは何十年振りかのソフトボールだし80の爺さんが出来るわけないと数合わせ顔見世の積りであった。

参加すると南町にこんなグラウンドがあったのかと初めて知った。グラブやボール、バットなども揃っている。人数も十人余り居て当たり前のように一員に加えられた。ボールを投げてみる、ボールを受けてみる、バットを振ってみる、どれも上手くいかないが似たような人も居り何よりも皆顔なじみだから親しみが湧いてきた。それでも休まずに通っていると、慣れて来た所為か自分でも進歩が感じられる。例えば当初下手投げで捕手にボールを投げると何度投げても上方に弧を描いてしまい定まらなかったものが、最近はボールを離すタイミングが合って来てまずまずのところはボールが投げられるようになった。走ることを除けばバッティング、守備も少しは上達が実感できるようになった。楽しさが加

わって来た。渡辺部長の熱心な指導にホダされて今やソフトボールの虜になってしまったようだ。

またお楽しみは時々開催する汗を流した後の反省会や飲み会である。地元で酒が飲める・・・そうだ稲門会に入ろうから22年間。何かにつけて吞みつづけている。実にありがたいことだ。



平山 正経 記

<俳句部会>

第261回 5月15日(月)

兼題：罌粟の花・青嵐 当季雑詠二句



<高点句>

千年の杉の雫や青嵐	大久保泰司
青嵐六分の狭気四分の熱	橘優治
落剥けば厨たちまち野となりぬ	片平るみ
雨蛙跳んでよとんでそら跳んで	横田慧子

<自選一句>

道の辺の罌粟背伸びして富士を見る	杉本達夫
筍の竹となる間の二日三日	川島知子
病床の窓に吾呼ぶ春嵐	比護喜一郎
青嵐机上の歳時記ページ繰り	本間信一
仁王像瞳の中の青嵐	三浦洋子
アマポーラ(雛罌粟) 日々薄れゆく記憶かな	橘優治

第262回 6月19日(日)

兼題：浴衣・短夜 当季雑詠二句

<高点句>

浴衣着て子の青春の始まりぬ	片平るみ
断捨離やあの夏の日のワンピース	三浦洋子
ひるがえす天女舞ふよな金魚かな	大久保泰司

<自選一句>

短夜や解決の目途立たぬまま	橘優治
浴衣の娘袂使いを知って居り	馬場清彦
電線に連なる雫梅雨寒し	比護喜一郎
遠国の戦禍悲しみ梅雨にいる	川島知子
食うもひとり呑むもひとりや夜は短か	杉本達夫
短夜のまどろみの中朝陽受く	横田慧子
短夜や軽き毛布の八ヶ岳	本間信一



＜ゴルフ部会＞

令和4年春の三田会合同コンペ

令和元年6月以来、雨による中止がありその後はコロナで中止と3年ぶりに飯能グリーンカントリークラブで開催しました。会員の中にはもう開催されないのではと危惧する方もいるなかでの開催でした。尚、最後の合同コンペの幹事で合同コンペの開催にご尽力いただいた三田会の山本好美さん（38年卒）が今年の4月にご逝去されました。スタート前に全員で黙とうを捧げ、ご冥福をお祈りしティーオフしました。

今回はコロナも収まっていないこともあり、従来の対抗戦ではなく表彰式もない懇親コンペとして、三田会7人、稲門会8人の参加で開催しました。それでも一応順位をつけましたが、優勝は三田会の佐武さん、ベスグロはスコア90で三田会エースの城山さんと三田会の頑張りが目立ちました。わが稲門会はハンデに恵まれた金子が2位、清水さんが5位と奮いませんでした。

次回は10月に稲門会コンペを予定しています。新人の参加も期待しています。

金子 孝司 記



＜第85回ウォーキング活動報告＞：鎌倉【鶴岡八幡宮、長谷観音、大仏、他】

鎌倉在住の俳人黛まどかは、「訪れる人の歩く早さに町の方が合わせてくれる、懐の深い町“鎌倉”」と紹介しているが、多くの人が何時か又行きたいと思っている鎌倉。主催者としても、学生時代に訪れてから半世紀超を経て訪れた感慨に浸った一日であった。

折悪しく前日に関東の梅雨入り宣言がなされたものの、何とかかなりそうな空模様の下、参加者15名（男8、女7）で、鎌倉駅に降り立った。東久留米から地下鉄直通、横浜駅で横須賀線に乗り換えて鎌倉駅到着。便利さには昔日の感があるものの、所用時間1時間50分はやはり“遠い感”は否めず、ウォーキングの目的地選定の際の限界かなとも思われた。

まず、鶴岡八幡宮へ参詣、併せて若宮大路・小町通りを散策、昼食。この間自由行動としたので、観光・買い物・食事と、各人各様に楽しんだようである。

平日で且つコロナにも拘わらず、鎌倉の観光客の数が大変なものであるのに驚かされ、今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿・13人の重臣」も輪をかけているようである。鶴岡八幡宮は源頼義が1063年に源氏の氏神として由比ガ浜に勧請したものを、源頼朝が1180年に鎌倉入府し町づくりをする際に現在の地に遷し、武士の守護神として信奉し



たものである。若宮大路の参道から一直線に向かう最終地点、高く朱塗りの豪華な本宮が鎮座していた。

鎌倉から長谷迄江ノ電で数分。そこから徒歩 10 分で高德院・大仏を参詣。1252 年大仏の鑄造に着手し殿舎も数年で完成。その後 2 回殿舎が大風で倒壊しその都度復興したが、1498 年東南海地震及び東海地震の震源域で巨大地震が発生し、そのときの津波で殿舎が流出し復興することなく現在の露座に至る。大仏の前で記念撮影をした。境内には「かまくらや 御ほとけなれど 釈迦牟尼は 美男におはす 夏木立かな」という与謝野晶子の歌碑があり、木立を背景に鎮座する大仏の情景描写と御仏を美男と感じる晶子の情熱の迸りを詠った歌に一種の感動を覚えた。同行の横田氏から、関東大震災で大仏が前のめりになり、その修復に免振構造が取り入れられたこと等、専門知識からの説明を戴いた。

大仏から 500m 徒歩で戻り長谷寺を参詣。763 年開基、木彫仏・十一面観音菩薩立像（9.18m）を本尊として信仰を集めてきた。境内に建っている聖観世音菩薩像には、鎌倉に在住した高浜虚子の「永き日のわれらが為の観世音」の句が刻まれている。

今回の主目的でもある有名な紫陽花の観賞に行ったが、驚いたことに、平日で四分咲の段階であるのに、入場者制限がなされ整理券が発行されていた。花自体は未だこれからという印象であったのが残念であったが、他人事ながら土日の人出ではどうなることかと恐ろしさを覚えた。後日、紫陽花に埋もれる鑑賞路での人の渋滞に、「紫陽花に佇んで胸濡らしけり（黛まどか）」の句が、情景が違うのであろうが、妙に思い出された。

この後、それぞれ徒歩 10 分のところにある御霊神社、極楽寺を訪れてウォーキングは終了。極楽寺駅から江ノ電で鎌倉駅に戻り、大船駅から湘南新宿ラインにて池袋へ。

東久留米へ帰り、恒例の打ち上げとなった。

部会長 東海 俊孝 記



部会だより 【今後の予定】

<ウォーキング部会>

（第 86 回）7 月 9 日（土）浅草寺ほおずき市→浅草周辺：土日の為人出が多いことを見越して中止

*9 日（土）と 10 日（日）の 2 日間の開催。

*7 & 8 月は、酷暑を避けて、ウォーキングはお休みとします。

以降の開催予定

9月13日(火) 行く先未定

10月11日(火) 行く先未定

11月以降 未定

◎行く先について、ご希望がありましたら、下記宛にお知らせ下さい。

★実施詳細はメールでお知らせします。参加実績のない方はメールアドレスの登録がありませんので、参加ご希望の方は以下宛に、メールアドレス or FAX 番号をご通知下さい。(メール or SMS メールを希望)

宛先: toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp 携帯 080-1205-9494 Fax: 042-473-8566

部会長 東海 俊孝 記



<グルメ部会>

グルメ部会からの久々のご案内を申し上げます。お早目のお申し込みをお願いいたします。

◎日 時 9月15日(木曜日) (同封のチラシをご参照ください)

◎会 費 3000 円

◎場 所 赤坂 「うまや」

市川猿之助、藤間紫プロデュースの店で「楽屋めし」を召し上がっていただきます。

◎行 程 10時15分東久留米駅改札前に集合 途中新宿三丁目で乗り換え

11時24分赤坂見附駅着 豊川稲荷に参拝

12時25分ごろ赤坂「うまや」着 会食

14時ごろ赤坂日枝神社参拝

二次会はひばりヶ丘か東久留米を予定しております。

◎参加申込 お店の都合上、参加人数は16名に限定の為、先着順とさせていただきます。

参加ご希望の方は吉田または高橋宛にご連絡ください。

吉田清郎 hibari_y@ybb.ne.jp

電話 042-424-8090

高橋哲男 bente-takahashi@jcom.home.ne.jp

電話 042-474-2366



申込締切は8月31日(水)です。

次回は ①浅草 米久(牛鍋) or ②横浜馬車道 瀬里奈(ビーフシチュー)

吉田 清郎 記

皆さまからのおたより

コロナ、そして八十路のたわごと

比護 喜一郎 記

一昨年来の長く執拗な新型コロナウイルス禍に連なって、あろうことか私自身の軽率無謀な自転車操行から己の腰部骨折事故を起こし、今年5か月の病院療養リハビリ生活を継続する羽目に陥った。自宅と病院、居住拠点の違いこそあれ、謂わば塾居生活の延長戦に、以前より増したやり場のない虚無感、寂寥感が津波のように襲って来た。私に限らず、やはり人には魑魅魍魎の人間社会にせよ、自由に開かれた空間で喜怒哀楽を赤裸々に語り合う場所が必要不可欠であることを改めてしみじみ悟った。

一昨年来のコロナ禍で有名無名の多くの人たちが来世に逝った。コロナ禍ではないにしてもこの間、多くの掛け替えのない友が私の前を通り過ぎて行った。「会者定離」、これ程までに冷徹にして容赦のない語句を私は他に知らない。生前もっと密に話をし、一緒に行動しとけば良かったと後ろを振り返るの

が常である。行ったきり誰も帰って来ないのだからきっとあの世は素晴らしい所なのだろう。彼地で再会を果たし、共に語り残した事、やり残した事を補うしかない。

クラスターを避けるため各種イベントが無観客で開催されたが、開催そのものを断念した催事もあった。人生の大切なターニングポイントを提供してやれず、家族や先生や友達との絆、愛情を再確認する意義深い貴重な時と場を、子供たちに設けてやれなかった一部小中学校の入学式卒業式がそれである。わが世代の幼少年期は家族、親戚、教職員などが一緒になって式典を挙げ祝った。彼らが成人して、「蛍の光」、「仰げば尊し」を唱えなかった事に思いを馳せる時、可哀想かつ気の毒な思いを禁じ得ない。往時の若者たちは泣いたり笑ったり、悪ガキは女教師の晴れ着の中にもぐったりして無邪気にふざけたものだ。全く罪深いコロナである。

私も今や八十路も半ば。自動車運転免許証の返納、愛用ゴルフ用具の譲渡、若者向けド派手なネクタイやジャケットの棄却等々を断行し、あまり意識はしたくないが、わが人生の峠は過ぎたと思っている。何も失うものがない赤子になぞらえて「わが人生、生まれた時がピークだった」と詠んだ新聞のサラリーマン川柳が笑えなくなった。

人の一生に波があるように、生きとし生ける森羅万象にうねりがあり、ピークがある。しかし進化して或は発達して、姿、容は変わっても決して死滅はしていないのではない。仏門に帰依する人間ではないが、そこには輪廻の世界が展開しているように私は思えてならない。人生も下り坂になると体の随所に不具合が生ずる。最近、視力の乱れ、聴力の低下、それに各部筋力の衰えが顕著になった。歩行速度もめっきり落ちて、ウォーキング会で一行に遅れること屢々、途中リタイアしたことも幾度かあった。北アルプスの麓に育ち、標高3千メートル級高山を何座も踏破して自慢の種にしていたが、かつての偶像(?)も形無しである。

大学卒業記念に北海道を旅行した。エルムが並び聳える広大な北大の一角にクラーク博士の立像があり、脇に「青年よ、大志を抱け」の碑があった。琴線に触れ思わず像の前で威儀を正したが、ふと以前に教えられた先達の言葉「希望することも失望することもそれは同じように空しいことだ。若者はただ明日に向かって行け」を思い出した。大志を抱くことも空しいことなのかと一瞬頭が混乱した。賢人も物の見方、方向によって思想が変わるようだ。



私の本棚に処分しきれずに古ぼけた一冊の本がある。尾崎士郎の書「人生劇場」である。書き出しの近い部分に主人公・青成瓢吉を取り巻くやくざ上がり「吉良常」の容姿を形容する面白い件がある。曰く、冬でも素足で歩く「吉良常」を見下して、悪童たちは「ぼんち足袋なし」と囃し立て、決まってこれを逆さに読んで面白がった。この件を読んで、すっかり先輩尾崎士郎が身近な存在となり、小説「人生劇場」が好きになった。以来「人生劇場」は私の本棚に居座り続け眠れぬ時のお慰みともなっている。司馬遼太郎の「竜馬がゆく」も愛読書の一つである。私にも竜馬の姉「乙女」姉さんのような姉がいて、八十路の大人をつかまえて、人前で「寝る前にトイレに行け」などと喧しい。が、この姉にしろ私にしろ、かく元気に産み、丈夫に育ててくれた両親に改めて感謝している。

月に一回、当会の國米家己三(元産経新聞記者・現フリーライター)さんを中心に近住の有志が集まって開く「談話サロン」は、面白く示唆に富む話題が豊富で、実に賑やかである。人類、宇宙の根源など大所高所から日常の慣行、生活など細事近事に至るまで多岐にわたり、お茶を飲みながら語り学びあっている。色々な分野から、色々な経験から貴重な興味深い話が噴出している。これまた月に一回俳句会も行っている。名句、迷句の境が分からぬ私だが、草花の名前を覚え、季語を充てる事等によって改めて四季の移ろい、自然の美しさに認識を深めている。俳句創りがボケ防止に役立っているとすれば、望外の喜びである。

もう好きな登山やゴルフは残念ながら出来そうもないが、まだ訪ねた事のない名所、古跡巡りの小・



中型旅行は続けたいと思う。幸い旅行好きの友も近くにいるし、次第に少なくなったとはいえ、観光名所各地に旧友が点在している。

コロナも漸く終息の兆しを見せ、今年は本格的、真正な夏を迎えることが出来そうである。過去2年半の充実感、達成感の乏しい空白の日時を埋めながら、闊達に八十路の道を歩んで行こうと思う。

(令和4年6月記)

東稲広報室

<総長決定選挙の結果について>

2022年6月16日(木)に実施した総長決定選挙の結果は、次の通りです。

田中 愛治	早稲田大学 総長	1,864 票
菅野 重樹	早稲田大学 理工月学院院長、理工学術院教授	1,072 票
藁谷 友紀	早稲田大学 教育・総合科学学術院教授	597 票
得票総数		3,533 票



開票の結果、得票総数の過半数(1,767票)を得票した田中愛治氏が次期総長となりました。

高橋 哲男 記

<新会員です！>

☆この度、東久留米稲門会の仲間に入れさせていただいた、石田孝司(いしだこうじ)と申します。昭和62年商学部卒業。約8年前より、前沢1丁目に住んでおります。大学時代は、鈴木ゼミ(損害保険)に所属。サークルはヤングテニス同好会でした。会社は損保会社です。

平日は仕事のため、部会活動へはなかなか参加できないですが、まずはゴルフに参加させていただくつもりです。我が家は家族3人も早稲田。地域の先輩・後輩の方々と、地域の為・自らの為、「早稲田」にどっぷり浸かった、楽しく・充実した生活を送れればと思います。

よろしくお願いいたします。

石田 孝司 記



☆1月の新年会に参加させて頂いた後に入会致しました大塚和恵と申します。昭和54年教育学部英語英文学科卒です。大学時代は英文速記研究会と山岳アルコウ会と言う2つのサークルに所属しておりました。卒業後は日本航空に客室乗務員として入社し12年ほど国際線を飛んでいました。東久留米に引っ越して来たのは今から25年前・・・姉が結婚を機に東久留米に住み始めた事がきっかけでした。今夫は静岡で暮らしているので、こちら東久留米では独身の娘と愛犬と暮らしています。趣味は旅行と和太鼓です。JAL時代に打ち込んでいたゴルフを再開したので、東稲会ゴルフ部に入会宣言したものの、打ちっぱなしでのあまりの酷さに愕然とし、皆さんの迷惑にならないよう練習に励まなければならないと思っている次第です。女性サークルの読書会にも参加させて頂こうと思っています。東久留米稲門会の先輩方の皆さん、これからどうぞよろしくお願い致します。

大塚 和恵 記



<ふれあいコンサートへのお誘い>

新会員の高野正人です。(S50年商学部卒)15年程前から「声楽」(イタリアの「ベルカント唱法」で主に古典歌曲・オペラアリア等を歌うもの)を先生について習っております。この度小生が代表を務め

る「マッシモの会」の会員により、地域貢献の一環として下記のコンサートを開催することとなりましたのでこの場をお借りしてご案内させていただきます。

- ・コンサート名： 「日本の歌・ドイツ/イタリアの歌 第1回ふれあいコンサート」
- ・日 時： 9月11日(日) 13時～16時
- ・場 所： 東久留米市南部地域センター (ひばりが丘「西友」のすぐ近く)
- ・演奏者： 男女9名 (「武蔵野音大別科」、「日本声楽家協会」等で声楽を学んでいるアマチュア演奏家)
- ・ゲスト： 橋本夏季さん(ソプラノ・東京藝大院卒)
- ・演奏曲： 日本歌曲、イタリア・ドイツ歌曲 合計30曲
- ・参加費： 500円 (注下参照)
- ・主宰者： (株)セイウン (東久留米市指定管理者)



(注) ① 参加費は「夏季さんのCD制作基金」へ充当いたします。

② 定員は80席でチケットは8月初めに販売開始となりますが、すでに半数の予約が入っているため短期間で完売になるものと思われます。参加希望者は「氏名・電話番号」を記載して、下記メルアドへ7月25日迄にご連絡願います。(チケットは当日受付でお渡しします。)

高野メルアド： lisachanphoto@gmail.com

(緊急時連絡先)： 090-4719-3672

高野 正人 記



<2022年度会員名簿作成にあたり、個人情報非開示希望の確認>

今年度の「会員名簿」の印刷準備を始めます。つきましては、個人情報非開示希望の確認をいたします。掲載項目「住所・電話番号・卒業年度/学部」の各情報の中で非開示を希望する項目がある場合は、7月末までにその旨を事務局までご連絡ください。名簿配付は次号「東稲ニュース」と同時予定です。

*今年度は定時総会を5月に開催した関係で、例年より名簿作成が遅くなりました。

ご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

<Table for Children>

6月28日、滝山ふれあい子ども食堂へ12,000円を、東久留米稲門会名で送金いたしました。これからも皆様のご協力をお願いいたします。

河村 洋子 記



<総会懇親会、特別会計収支報告>

5月21日(土)開催の総会懇親会の収支は以下のとおりでしたので報告します。

〔収入〕 会費…132,000円 参加者44名×会費3,000円

〔支出〕 飲食費…134,310円 会場費6,800円

〔収支〕 9,110円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。



会計係 清水 正弘 記

<会費お支払いのお願い>

当会の年会費 3,000 円の納入がお済みでない方は、7 月末までに納入してください。納入方法は 3/10 発行の東稲ニュースに詳しく書いてありますので、ご参考になさってください。

<お詫び>

3/10 発行の東稲ニュースでは、囲碁部の活動は休止と掲載いたしました。実際には 5 月 6 月ともに活動を再開しました。お詫びして訂正いたします。

<稲門祭記念品グッズ>

皆さまのご協力により、記念品グッズの売り上げが 158,000 円となり、目標の 14 万円を超えることができました。ありがとうございました。記念品を購入した方を対象に行われる福引の番号は以下の通りです。10/23 の稲門祭当日に結果がわかりますので、お楽しみに！

稲門祭抽選番号

安次峰暁 (04451)、鮎貝盛和 (04452)、有賀千歳 (04453)、池田信一 (04454・04461)、伊東毅 (04462・04463)、上原徹也 (04464・04465・04466・04467・04468)、大矢真弘 (04469・04470・04471)、小野泰右 (04472・04473・04474)、小山田朋樹 (04475) 片平るみ (04476・04477・04478・04479)、金子孝司 (04480・04481)、河村洋子 (04482)、吉川明美 (04483)、坂井淑晃 (04484)、酒巻俊雄 (04485)、笹井瞭三 (04486)、坂本洋子 (04487)、清水正弘 (04488・04489・04490)、高橋哲男 (04491・04492・04493)、橘優治 (04494・04495・04496・04497)、東海俊孝 (04498・04499・04500)、長束輝夫 (04501・04502)、比護喜一郎 (04503)、菱山房子 (04504・04505)、平山正徑 (04506・04507)、別処尚志 (04508)、帆角信美 (04509) 前川初子 (04510・04511)、松崎勉 (04512・04513・04514・04515・04516)、松崎博 (04517)、三浦洋子 (04518)、山岡恭子 (04519・04520・04521・04522・04523)、山口謙二 (04524・04525・04526)、横田治彦 (04527・04528)、吉田清郎 (04529)、渡辺真司 (04530・04531・04532・04533・04534・04535)

<会員リレーエッセイ>

～噴水広場～

コロナ入院体験記

馬場 清彦 (S28 法)

ショック冷めやらぬ中でコロナ感染による入院体験のエッセイをと言われ、戸惑いがありましたが、他山の石になるならばと引き受けました。

あれは 4 月 11 日でした。何だか風邪気味で喉に違和感を覚えたので、主治医に受診した。付き添いで一緒に来てくれた娘も共にコロナの陽性宣告を受け、目の前真っ暗ショックだった。即入院とのこと、自家用車で来ていたので、交渉の結果 1 時間半後に自宅に民間救急車に来て貰う事となった。

それからが大変、入院グッズを手当たり次第カバンに詰め込み、以前大腸ガンの手術で昭和病院に入院の経験でチャッカリ梅干しとフリカケを詰め、忠告のあった退院時用の服も忘れず、後は下着や孫の手等。マジックハンドを忘れたのは手抜かりだった。



入院生活は楽しかったと言いたい所だが、残念ながら快適ではありませんが、不自由で参った。まず点滴柱につながれ、一日中不便を強いられ、トイレの隔離幽閉された有名人の気持ちの一端が分かる気がしたと言え、一寸大

薬漬けの毎日だったが、娘と共に耐え抜き、十日間を過ごした。窓からは遠く桜が満開を過ぎた様子が見え、私は東久留米稲門会の俳句部員だった事を思い出し、ラーメンが食べたいと思いつつ、拙い俳句を作ってみたので、ご笑覧あれ。

新緑やコロナの天使マスクの瞳（め）
桜散るコロナの窓に遠く見て
花よりも悪役コロナ早く散れ
五日目汗天使の手には蒸しタオル



無事に退院。その後快調、感謝。皆さんもお気をつけて。

大学入学後、1年に足りない期間だったが、歩行会（あるこうかい）に所属していた。夏山や市街地、どこでも歩いてみたいと思っていたのだ。最初の試練は、山手線一周。夜の9時ころから歩き出し、翌朝5時ころに大学に到着するというもの。約50キロくらいだったと思う。皆が一番悩まされたのが足にできたマメ。幸い、私はマメには悩まされなかったが、最後は高田馬場駅から早大正門まで走るといふ1年生に課された恒例行事は、とてもじゃないが果たせる状態ではなかった……

編集委員：片平るみ（今回の担当）・有賀千歳



東久留米稲門会ホームページにアクセスできます。

